▲ 広島ゆたか広報 ▲広島ゆたか広報

今月 0 名

つまでも実現しな フトバンク創業者 9 な 目標 は 孫正義

スマート農業実証試験

大崎上島町において「ス マート農業実証試験」が実 施されました。

農業用ドローンで、園地 の自動飛行ルートの設定、 液肥の散布を実際に行いま した。



シトラスファーマーズ視察研修の実施

豊浜町内のかんきつ生産者から成るシトラ スファーマーズが「視察研修」を実施しまし た。広島県果樹研究部でレモンの早期多収技 術として開発しているアーチ仕立て栽培等に ついて研修しました。





主 な 行 事 報 告

アイル監査法人監査概要説明 9月5日

9月11日 県団体検査課ヒアリング 9月19日 経営会議

9月24日 第1回管理職会議

9月27日 第6回理事会

案〉

出荷計画について 第1号議案 第2号議案 前渡金について

規程類管理規程の一部変更について

〈報告事項〉

1、旧木江事業所について

2、信用事業の諸手数料について

3、定点果汁分析結果について

その他

極早生みかんの初売りが行われました!

10月8日(火)、広島中央市場で の令和元年産かんきつ販売のス タートを切る極早生温州みかんの 初競りに出向きました。JA呉(江 能共選・蒲刈選果場)、JA三原(せ とだ選果場)、JA尾道(因島選果 場)も同日の初売りで賑やかな売り 場となるなか、昨年並みの販売単 価でスタートしました。



























極早生みかん・レモンの出荷開始!

10月7日に大長選果場において、令和元年産の極早生・レモンの初 選果・初出荷が行われました。初選果に併せて県内のテレビ局・新聞 社も駆けつけ取材を行いました。かんきつ生産者にも園地での取材に ご協力いただき、販売の PR を行いました。





期首組合員数 出資金額 5億4734万円 貯 金 残 高 281億2381万円 付 金 6億1964万円 給 高 5億6660万円 受 入 高 1億9060万円

令和元年11月

編集発行 JA広島ゆたか総務部

9月末実績

いつも当JAのご利用 有難うございます。今後 も役職員一同、誠心・誠 意事にあたりますので、 今後もご利用のほどよろ しくお願い致します。





10 月から極早生温州みかんとレモンの荷受け開始前の家庭選別での 基準の確認のため、各地区で「選別講習会」を開催しました。JA の 担当者から荷受け予定の説明の後、今年産のかんきつの特徴を踏まえ、 家庭選別の基準について説明を行いました。





なか面は作業指針

なか面は作業指針

-▲ 広島ゆたか広報

11月の柑橘園作業指針

JA広島ゆたか営農販売課

開花が早く積算温度が高い年に<mark>過熟傾向</mark>になり、クラッキングや後期 **落果**(昨年多発)が起きやすくなります。今年も似た傾向ですので、 防除対策や、収穫時期に注意し、被害を最小限に抑えましょう



【1】収穫前の防除

(1) いしじ、中生、普通温州 腐敗防止剤散布

散布時期:11月中~下旬 *収穫開始7日前までに散布

*着色が早くクラッキング・浮皮のおそれがある場合は、散布を早める

()内は収穫前散布日数

写真:クラッキング

対象病害虫	散布薬剤・倍数		180あたり	1000あたり
腐敗防止	ベフトップジンフロアブル® (7日前)	1,500 倍	12сс	66сс

- *収穫前にハダニの再発生がある場合は、オマイト水和剤750倍(みかん7日前まで、 みかんを除くかんきつ14日前まで)を混用し防除
- *サビダニが発生した園地は次年度の発生抑制のためサルファーゾル400倍を混用し防除

(2) 中晩柑類 後期落果・ヘタ落ち防止

散布時期

- ・後期落果防止の場合・・・着色期
- *着色期前(緑果)に散布すると着色が悪くなるので、 果皮の緑色が薄く変色し始めてから散布



又は ヘタ落ち防止(収穫20日前頃)

写真:しらぬひの後期落果(ヘタ周辺が水腐れ) 昨年は12月に発生

対象品種	散布薬剤・倍数	180あたり	1000あたり
しらぬひ (デコポン)・八朔・甘夏・ 伊予柑・はるみ・清見	マデックEW 3,000 倍	6 с с	33сс

*散布回数は1回

【2】樹勢維持·回復対策

10 月肥(秋肥)の施用など樹勢回復対策により、来年の発芽促進・花芽充実を図る。

▲ 広島ゆたか広報

(1) 10 月肥(秋肥)の施用

地温が低下すると、年内に効かないため、11月上旬までに施用する。

*施用量は10月肥(秋肥)特報を参照

(2) 葉面散布

窒素を葉から吸収させることで、速やかな樹勢回復を図る。*腐敗防止剤と混用可

時期・回数	散布資材・倍数		180あたり	1000あたり
収穫前後	「 尿素	200 倍	90 g	500 g
2~3 回	┗万田 31 号	10,000 倍	1.8сс	10сс
	または万田アミノアルファ	1,000 倍	18сс	100сс

*樹勢が著しく弱っている場合は、尿素 500 倍とする

【3】収穫・出荷について

みかんは、<mark>浮皮防止や隔年結果防止</mark>のため、着色基準に達した果実はなるべく早く収穫する。クラッキングの発生に注意する。

(1) 収穫について

品種	収穫・予措方法	
早生	品質を揃えるため、外なりの着色の良いものから分割採収する	
いしじ	・完全着色で紅がのった果実から順次、収穫する。ただしクラッキング(果皮のひび割れ)の発生が始まった場合は収穫を早める。 ・収穫後7日間程度、自然予措を行う ・出荷まで期間が長く空く場合は、新聞紙、もぎたてパック等で乾燥を防ぐ	
中生•普通	浮皮が発生しないうちに、外成り果の7分着色以上の果実から収穫 し、9分着色以上、7~8分着色に仕分ける	
レモン	・規格の大きさに達した果実から順次採収する・グリーンレモンは衝撃でヤケが発生しやすいので取扱い注意	

(2) 収穫・選別時の取り扱いについて

- ・軸長や切り口のとがったヘタが無いよう、良く切れるハサミで2度切りする
- ・果実は丁寧に扱う (腐敗防止、ヤケ防止 (レモン))

お問い合わせは 広果連技術員まで

糸曽技師(上島地区担当) 090-7540-5754

小川技師(下島地区担当) 090-7540-5751